



食育からはじまる食卓の笑顔

第54期
中間事業報告書
平成17年3月1日～平成17年8月31日

Maruetsu

株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、ますます
ご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに第54期中間期の営業概況ならびに決
算の内容と今後の展望についてご報告いたし
ます。



平成17年11月
代表取締役社長

太田 清徳

●当中間期の取り組み

当中間期におけるわが国経済は、企業部
門、家計部門がともに改善し、景気は緩や
かな回復傾向をたどっておりますが、年金
問題等の不安材料により、食品に対する消
費マインドは依然として不透明であり、本
格的な消費動向の回復には到りませんでし
た。

小売業界では業種・業態を超えた企業間
競争の激化等により、引き続き厳しい経営
環境が続いております。

このような状況下、当社は本年10月に創
業60周年を迎え、長年のお客様のご愛顧に
感謝を込めて、「60周年創業祭」を開催いた
しました。

営業面につきましては、お客様のご要望
にお応えするために、8店舗の改装・リニ
ューアルを行うとともに、深夜営業店舗を
11店舗拡大し合計102店舗とするなど、多様
化するお客様のライフスタイルの変化に対
応できる体制づくりを進めております。

新店につきましては、天王町店（神奈川
県）、草加八幡店（埼玉県）、フーデックス
プレス新小岩店（東京都）、四季の森フォレ
オ店（神奈川県）、東中山店（千葉県）の5
店舗を開設いたしました。また、経営資源
の効率化を図るため、北浦和HOPビル店
（埼玉県）他11店舗の閉鎖を行った結果、当
中間期末の店舗数は204店舗となりました。

小売の連結子会社では、サンデーマート
株式会社におきましては大森東店（東京都）
の新設、株式会社ポロロッカでは水道小桜
店（東京都）の新設と近畿地区17店舗の営
業譲渡と3店舗の閉鎖を行い、グループ総
店舗数は251店舗となりました。

商品面では、当社開発商品の品質とこ
だわり重視の「FOODeX（フーデックス）」、
環境重視の「HOMEeX（ホームエクス）」
は累計で約420品目となり、お客様にご好
評いただいております。

環境、社会貢献活動につきましては、当
社の店舗に設置しております水自動販売機

の売上金の一部を、社団法人 国土緑化推進
機構の「緑の募金」に寄付することで、大
切な水資源の確保に役立てていただいてお
ります。また、お買物袋持参運動の継続実
施や、サービス介助士の店舗への配置を拡
大してまいります。

人材育成につきましては、1ヵ月間店長
を店舗業務から開放し、自店の問題点を客
観的に分析し、解決方法を見出していく
「店長1ヵ月研修」の拡大等、階層別教育の
充実に取り組んでまいりました。

●業績の状況

以上のような取り組みを実施しましたが、
当中間期の単体決算は、営業収益は1,540億
51百万円（前期比94.2%）、営業利益は13億
61百万円（前期比56.9%）、経常利益は12億
円（前期比56.6%）となりました。なお、特
別損失として減損損失、店舗閉鎖費用、役
員退職慰労金等を計上した結果、9億88百
万円の中間純損失となりました。

連結決算は、営業収益は1,664億15百万円
（前期比93.0%）、営業利益は16億47百万円
（前期比65.4%）、経常利益は14億80百万円
（前期比70.4%）となりました。なお、特別
損失として株式会社ポロロッカの店舗閉鎖
費用を計上した結果、中間純損失は10億40
百万円となりました。

このような状況下で、誠に遺憾ではござ
いますが、中間配当の実施を見送ることと
させていただきます。

●今後の展望

食品に対する消費マインドは依然として
不透明であり、業種・業態を超えた競争激
化により、厳しい経営環境が続くことが予
測されます。

このような状況下で、コスト削減をさら
に進め、併せて営業力の強化を図ってまい
ります。また、上期に引き続き不採算店舗
の閉鎖を行い、一層の経営効率の改善を進
め、厳しい環境でも利益が確保できる経営

体質を作り上げてまいります。

営業面といたしましては個店競争力を高
めるマーチャンダイジングの実施、仕入方
法や商品の見直し、より地域ニーズや時間
帯毎に合った品揃えを実現するとともに、
生鮮食品の鮮度の向上、利益率の改善を図
ってまいります。

さらに、この10月からスタートしたマル
エツ・ネットスーパーを都区部を中心に順
次拡大し、お客様の利便性の向上を図る等、
お客様にご満足とご支持をいただける「地
縁ストア」づくりを進めてまいります。

下期の新店計画は、単体で4店舗（通期
9店舗）、小売部門のグループ合計で5店
舗（通期12店舗）、改装・リニューアルは
単体で7店舗（通期15店舗）程度を実施し
てまいります。

以上のような取り組みを実施してまいり
ますが、経営環境は引き続き大変難しく、
通期の見通しといたしましては、単体の営
業収益は3,080億円（前期比95.5%）、営業利
益は21億円（前期比81.9%）、経常利益は16
億円（前期比68.7%）、当期純損益は店舗閉
鎖関連費用等の特別損失の計上を予定して
おり、35億円の当期純損失を見込んでおり
ます。連結の営業収益は3,300億円（前期
比93.8%）、営業利益は26億円（前期比
95.3%）、経常利益は21億円（前期比94.1%）、
当期純損失は33億円を見込んでおります。

今後につきましても“For the Customers”
の経営理念のもと、食生活を支える地域社
会のライフラインとして、お客様との信頼
づくりをさらに努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、引き続
きご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願い
申し上げます。

グループ企業

株式会社ポロロッカ

■所在地 東京都新宿区市谷田町1丁目14番1号
■店舗数 22店
都市型スーパーマーケット



愛甲石田店（神奈川県伊勢原市）

サンデーマート株式会社

■所在地 埼玉県蕨市中央3丁目22番30号
■店舗数 25店
住宅地を中心に展開するスーパーマーケット



八丁堀店（東京都中央区）

グループ総店舗数 251店
(平成17年8月31日現在)

株式会社クローバ商事

■所在地 東京都豊島区東池袋5丁目51番12号
商品開発、販売業務

株式会社マルエツ開発

■所在地 東京都中野区中央1丁目13番8号
不動産管理、店舗開発業務

株式会社マーン

■所在地 東京都豊島区東池袋5丁目51番12号
ノーマライゼーションを理念に
事務サービス業を代行する特例子会社

株式会社メッカ

■所在地 東京都大田区大森西3丁目31番8号
スポーツ機器販売

株式会社日本流通未来教育センター

■所在地 埼玉県蕨市中央3丁目22番30号
教育事業

創業60周年の歩み

**マルエツは2005年10月に
創業60周年を迎えました。
これからもお客様の「笑顔」の
ために発展を続けます。**

- 2005** 60周年創業祭／第4回「東京都グリーンコンシューマー奨励賞」受賞
2004 テーブルルネッサンス21スタート
 盲導犬育成募金累計1億円突破
2003 株式会社東武ストアと資本・業務提携
2002 株式会社ポロロッカ株式取得
 株式会社日本流通未来教育センター設立
 マルエツ200店舗達成
2001 株式会社すえひろと業務・資本提携
 Foodexpress (フーデックスプレス) の1号店「東日暮里店」開設
2000 平成12年度障害者雇用優良事業所及び優秀勤労者表彰式において
 「労働大臣表彰」受賞

- 1999** 「マルエツふれあいショッピング」開設
 平成11年度「消費者志向優良企業通商産業大臣表彰」受賞
1998 ホームページ開設
1997 「店長宣言ボード」全店導入
1996 お客様の声を反映する「店長への直行便」導入
1995 50周年創業祭／緑化資金導入
1991 健康と食文化実践室「いーとびあ」開設

- 1989** 本社を東京都豊島区東池袋に移転
1987 マルエツ商品券取扱開始
1986 白岡生鮮加工センター開設
 POSシステム導入開始
1985 浦和加工センター開設
1984 東京・大阪両証券取引所市場第一部へ
 指定替え
1981 株式会社サンコーと合併
1981 サンデーマート株式会社
 (現・連結子会社)の株式取得

1970

1960 1965 セルフサービスの1号店「大宮店」開設

1950 1952 有限会社魚悦商店設立

1945 1945 魚悦商店を埼玉県浦和市(現・さいたま市)にて創業

2005
2004
2003
2002
2001
2000



- 1979** 消費者モニター制度導入
1978 株式会社プリマートと合併し首都圏
 で100店舗を越える
1977 食品スーパーマーケットで初めて
 東京証券取引所市場第二部に上場
1976 千葉県に進出
1975 埼玉県大宮市(現・さいたま市)に、
 大宮物流センターを開設
1974 株式会社マルエツに商号変更
1970 株式会社丸悦ストアーに商号変更
 東京都に進出



店舗の状況

平成17年8月31日現在
204店舗



新店のご案内

当中間期は、新規に5店舗を開設し、8店舗の改装及びリニューアルを行いました。
 また、ライフスタイルの変化に対応して、11店舗の深夜営業の拡大を行うなど、
 様々なお客様のニーズにお応えする店づくりを進め、新たなお客様との出会いを広げ、
 営業基盤の拡大に努めてまいりました。

マルエツ



平成17年3月25日オープン
草加八幡店(埼玉県草加市)

フーデックスプレス



平成17年4月8日オープン
新小岩店(東京都葛飾区)

「食育」を通じて、地域の一員として、お客様によりよい生活づくりに役立てる 「地縁ストア」を目指します

地域のお客様の「健康で豊かな生活を送りたい」という願いを実現するお手伝いをするために、当社は様々な「食」に関する情報をご提供し続けております。地域の食材、食べ方、食の大切さ、

それを育む自然の素晴らしさについて、お客様とともに「おいしさ」「健康」「安心・安全」を追求してまいります。

子供たちへの料理教室 **いーとびあ** (キッズクッキングコース)

いーとびあはマルエツが運営する「料理とカルチャーの教室」です。小学生向けのキッズクッキングコースを定期的に開設し、子供たちが「食べ物を大事にする心」「食べ物を選ぶ力」「食事のマナーとルール」を習得するお手伝いをしております。



お客様参加の体験ツアー

お客様に、食の大切さ、それを育む自然の素晴らしさを体感していただくために、お客様をご招いて、様々な体験ツアーを実施しております。



売場での「食育」活動

キッチンいーとびあでは、お客様に「旬の食材」を使った料理メニューを提案しております。また、お客様が「食」に関する知識を自然に身に付けることができるように、売場の各所にボード等でご案内をしております。



「何を」「どれだけ」食べればよいか、望ましい食事のとり方やおよその量をイラストで示した「食事バランスガイド」は、厚生労働省と農林水産省の連携で作成されました。

お客様への新鮮な素材の提供と、その素材の加工方法と食べ方の提案、毎日のメニュー提案等を実践し、地域のお客様が「食育」に対して理解を深めていただけるように努めてまいります。

イベント

お客様に「食材」「産地」「料理」に興味を持っていただけるように、様々なイベントを開催しております。



山口県産フェア (国領店)



香川県産連協賛
「おさかなシャトル」(井土ヶ谷店)



横須賀魚市場協賛 地曳網大会



お母さんのためのフードアカデミー
おいしい元気食講座

幅広く「食育」を広めるための活動

情報誌「くらし方録」やホームページを通じて、様々な「食」に関する情報を定期的にご提供しております。



お客様と生産者の方々をつなぐ活動

「育ちはっきり野菜」や「地元野菜」の販売を通じて、お客様と生産者の方々をつなぐ架け橋になるよう努めております。



中間決算の概要（連結）

■中間連結貸借対照表

〔単位：百万円〕

科目	期別	当中間連結 会計期間末 (平成17年3月31日現在)	前中間連結 会計期間末 (平成16年3月31日現在)	科目	期別	当中間連結 会計期間末 (平成17年3月31日現在)	前中間連結 会計期間末 (平成16年3月31日現在)
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産		32,656	39,527	流動負債		50,363	42,830
現金及び預金		8,742	10,170	買掛金		20,493	21,653
売掛金		1,695	1,643	短期借入金		17,018	9,124
有価証券		9	—	コマーシャルペーパー		4,000	5,000
たな卸資産		12,206	13,138	未払法人税等		348	241
繰延税金資産		174	3,589	その他		8,504	6,811
その他		9,827	10,986				
固定資産		107,913	123,682	固定負債		43,211	48,510
有形固定資産		57,505	74,584	社債		10,000	10,000
建物及び構築物		27,831	38,765	長期借入金		18,195	29,613
土地		25,157	32,095	退職給付引当金		229	2,549
その他		4,516	3,723	その他		14,786	6,346
無形固定資産		723	815	負債合計		93,575	91,340
投資その他の資産		49,684	48,283	(少数株主持分)			
投資有価証券		4,852	2,326	少数株主持分		—	—
差入保証金		37,546	40,237	(資本の部)			
繰延税金資産		5,950	4,187	資本金		37,549	37,549
その他		2,680	1,763	資本剰余金		17,934	35,788
貸倒引当金		△ 1,346	△ 231	利益剰余金		△ 6,345	673
繰延資産		8	25	その他有価証券 評価差額金		358	380
社債発行費		8	25	自己株式		△ 2,494	△ 2,496
				資本合計		47,002	71,894
負債、少数株主持分 及び資本合計		140,577	163,235				

（注）中間連結貸借対照表、中間連結損益計算書、中間連結剰余金計算書及び中間連結キャッシュ・フロー計算書の記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

■中間連結損益計算書〔単位：百万円〕

科目	期別	当中間連結 会計期間 (平成17年3月1日～ 平成17年3月31日)	前中間連結 会計期間 (平成16年3月1日～ 平成16年3月31日)
営業収益		166,415	179,019
売上高		163,216	175,706
売上原価		118,556	127,306
売上総利益		44,660	48,399
営業収入		3,198	3,312
営業総利益		47,859	51,712
販売費及び一般管理費		46,211	49,193
営業利益		1,647	2,519
営業外収益		421	247
営業外費用		588	665
経常利益		1,480	2,101
特別利益		—	3,648
特別損失		1,171	1,859
税金等調整前中間純利益		308	3,890
法人税、住民税及び事業税		180	233
法人税等調整額		1,168	2,399
中間純利益		△ 1,040	1,258

■中間連結剰余金計算書〔単位：百万円〕

科目	期別	当中間連結 会計期間 (平成17年3月1日～ 平成17年3月31日)	前中間連結 会計期間 (平成16年3月1日～ 平成16年3月31日)
資本剰余金の部			
資本剰余金期首残高		35,788	35,776
資本剰余金増加高		(0)	(11)
自己株式処分差益		0	11
資本剰余金減少高		(17,854)	(一)
利益剰余金への振替高		17,111	—
配当金		742	—
資本剰余金中間期末残高		17,934	35,788
利益剰余金の部			
利益剰余金期首残高		△ 22,417	155
利益剰余金増加高		(17,111)	(1,258)
中間純利益		—	1,258
その他資本剰余金からの振替高		17,111	—
利益剰余金減少高		(1,040)	(740)
中間純損失		1,040	—
配当金		—	740
利益剰余金中間期末残高		△ 6,345	673

■中間連結キャッシュ・フロー計算書〔単位：百万円〕

科目	期別	当中間連結 会計期間 (平成17年3月1日～ 平成17年3月31日)	前中間連結 会計期間 (平成16年3月1日～ 平成16年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		2,108	3,860
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 4,271	2,305
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 2,338	△ 3,014
現金及び現金同等物の増減額		△ 4,500	3,151
現金及び現金同等物期首残高		13,243	7,019
現金及び現金同等物中間期末残高		8,742	10,170

中間決算の概要（単体）

■中間貸借対照表

〔単位：百万円〕

科目	期別	当中間 会計期間末 (平成17年3月31日現在)	前中間 会計期間末 (平成16年3月31日現在)	科目	期別	当中間 会計期間末 (平成17年3月31日現在)	前中間 会計期間末 (平成16年3月31日現在)
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産		31,619	41,899	流動負債		46,850	37,718
現金及び預金		7,533	9,016	買掛金		19,497	19,880
売掛金		3,136	3,138	短期借入金		15,266	6,538
有価証券		9	—	コマーシャルペーパー		4,000	5,000
たな卸資産		11,306	11,872	未払法人税等		293	167
短期貸付金		7	3,779	その他		7,793	6,132
繰延税金資産		174	3,517				
その他		9,451	10,574	固定負債		39,916	45,050
固定資産		107,487	120,211	社債		10,000	10,000
有形固定資産		47,065	61,319	長期借入金		15,977	27,093
建物		22,022	31,211	退職給付引当金		—	2,343
土地		20,712	25,560	リース資産減損勘定		3,080	—
その他		4,330	4,547	その他		10,859	5,614
無形固定資産		628	746	負債合計		86,766	82,768
投資その他の資産		59,793	58,146	(資本の部)			
投資有価証券		7,522	8,242	資本金		37,549	37,549
差入保証金		37,507	38,945	資本剰余金		17,934	35,788
関係会社長期貸付金		9,842	—	資本準備金		9,776	9,776
繰延税金資産		5,334	3,185	その他資本剰余金		8,158	26,012
その他		2,205	8,005	利益剰余金		△ 988	8,146
貸倒引当金		△ 2,618	△ 231	任意積立金		—	1,079
繰延資産		8	25	中間未処分利益		△ 988	7,066
社債発行費		8	25	その他有価証券 評価差額金		348	380
				自己株式		△ 2,494	△ 2,496
				資本合計		52,349	79,367
負債・資本合計		139,115	162,136				

■中間損益計算書〔単位：百万円〕

科目	期別	当中間 会計期間 (平成17年3月1日～ 平成17年3月31日)	前中間 会計期間 (平成16年3月1日～ 平成16年3月31日)
営業収益		154,051	163,591
売上高		151,076	160,539
売上原価		112,059	118,677
売上総利益		39,016	41,861
営業収入		2,974	3,052
営業総利益		41,991	44,914
販売費及び一般管理費		40,629	42,519
営業利益		1,361	2,394
営業外収益		372	311
営業外費用		533	584
経常利益		1,200	2,121
特別利益		—	3,648
特別損失		735	938
税引前中間純利益		465	4,831
法人税、住民税及び事業税		134	164
法人税等調整額		1,318	2,100
中間純利益		△ 988	2,566
前期繰越利益		—	4,500
中間未処分利益		△ 988	7,066

（注）中間貸借対照表、中間損益計算書の記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

業績の推移(単体)

区 分	平成15年度 (第52期)		平成16年度 (第53期)		平成17年度 (第54期)
	中間	通期	中間	通期	中間
営業収益(百万円)	167,391	332,060	163,591	322,668	154,051
営業利益(百万円)	2,895	5,761	2,394	2,564	1,361
経常利益(百万円)	2,572	5,166	2,121	2,328	1,200
中間(当期)純利益(百万円)(△は純損失)	401	1,563	2,566	△21,949	△988
1株当たり中間(当期)純利益(円)(△は純損失)	3.25	12.66	20.78	△177.53	△7.98
総資産(百万円)	154,656	158,239	162,136	137,220	139,115
純資産(百万円)	76,538	78,206	79,367	54,208	52,349
1株当たり純資産(円)	620.51	634.09	641.04	437.86	422.80

(注)
1.「1株当たり中間(当期)純利益」は、期中平均株式数によって算出しています。なお、期中平均株式数から自己株式を控除して算出しています。
2.「1株当たり純資産」は、期末発行済株式総数によって算出しています。なお、期末発行済株式総数から自己株式を控除して算出しています。

商品別売上高(単体)

区 分	平成16年度中間 (第53期)		平成17年度中間 (第54期)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
青 果	20,297	12.6	18,777	12.4
鮮 魚	15,531	9.7	14,440	9.6
精 肉	14,704	9.2	14,033	9.3
惣菜・インスタベーカーリー	16,068	10.0	15,915	10.5
日 配 食 品	33,706	21.0	31,681	21.0
一 般 食 品	46,143	28.7	43,295	28.6
食 品 計	146,450	91.2	138,143	91.4
日 用 雑 貨	7,774	4.9	7,171	4.8
衣料・身の回り品他	6,314	3.9	5,760	3.8
雑 貨 ・ 衣 料 計	14,088	8.8	12,932	8.6
合 計	160,539	100.0	151,076	100.0

(注)平成16年10月に一般食品、日用雑貨、衣料・身の回り品他の部門変更があり、それに合わせて平成16年度中間の商品別売上高は修正を行っています。

店舗数(平成17年8月31日現在)

204店	茨城県 2店 千葉県 53店	栃木県 2店 東京都 54店	埼玉県 54店 神奈川県 39店
------	-------------------	-------------------	---------------------

株式の状況(平成17年8月31日現在)

株主数

株主総数	6,013名
単元株式所有株主数	4,244名

大株主

株 主 名	所有株式数(千株)	出資比率(%)
株 式 会 社 ダイ エ ー	46,423	36.02
丸紅フーズインベストメント株式会社	37,113	28.79
株 式 会 社 マ ル エ ツ	5,078	3.94
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,979	1.54
マルエツ従業員持株会	1,776	1.38
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	1,565	1.21
株式会社みずほコーポレート銀行	1,505	1.17
三 洋 電 機 株 式 会 社	946	0.73
マ ル エ ツ 共 栄 会	923	0.72
みずほ信託銀行株式会社	922	0.72

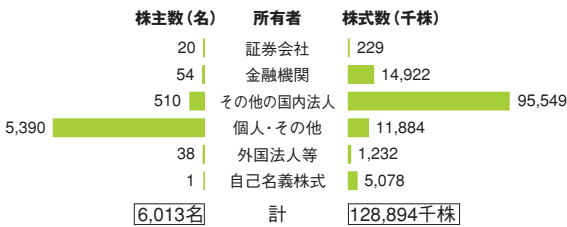
株式の総数

会社が発行する株式の総数	208,009,000株
発行済株式総数	128,894,833株

名義書換状況

名義書換件数	267件
名義書換株式数	2,394,890株

所有者別分布状況



会社概要(平成17年8月31日現在)

会 社 名	株式会社 マルエツ
設 立	昭和27年6月
本 社	〒170-8401 東京都豊島区東池袋5丁目51番12号 電話 03-3590-1110(代表)
資 本 金	37,549,514,941円
従 業 員 数	12,422名 パートタイマー9,014名を含む (1日8時間換算による期中平均人員)

役員一覧(平成17年8月31日現在)

代表取締役社長	太 田 清 徳
取締役副社長	瀧 田 正 勝
専 務 取 締 役	谷 口 義 博
専 務 取 締 役	中 浩 二
常 務 取 締 役	佐 藤 徹 郎
常 務 取 締 役	緒 方 雄 介
常 務 取 締 役	小 林 豊
取 締 役	高 橋 恵 三
取 締 役	古 川 茂 樹
取 締 役	小 林 正
取 締 役	佐々木 剛
取 締 役	上 田 真 潔
取 締 役	沖 山 潔
取 締 役	早 見 栄 高
取 締 役	高 鷲 光 洋
取 締 役	東 野 亨 一
取 締 役	野 口 公 昭
取 締 役	高 橋 義 昭
取 締 役	中 前 圭 司

常 勤 監 査 役	菅 田 博
常 勤 監 査 役	遠 藤 時 夫
監 査 役	小野寺 弘 孝
監 査 役	上 保 康 和

常勤監査役遠藤時夫、監査役小野寺弘孝、及び監査役上保康和の3名は社外監査役であります。



マルエツ ホームページ
<http://www.maruetsu.co.jp/>
iモード
<http://www.maruetsu.co.jp/i/>
マルエツ ふれあいショッピング
<http://www.rakuten.co.jp/maruetsu/>

株主メモ

- 決 算 期 毎年2月末日
- 定 時 株 主 総 会 毎年5月
- 配当金及び中間配当金 配当金は毎年2月末日現在の株主に、また中間配当金を支払う場合は毎年8月31日現在の株主にそれぞれお支払いします。
- 公 告 掲 載 新 聞 日本経済新聞
決算公告については、当社ホームページ
<http://www.maruetsu.co.jp/kessan/index.html>
に掲載しております。
- 上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所
- 株式名義書換代理人 東京都中央区八重洲1丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所
(郵便物送付先及び連絡先)
〒135-8722
東京都江東区佐賀1丁目17番7号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-288-324(フリーダイヤル)
同取次所
みずほ信託銀行株式会社 全国各支店
みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
専用ホームページの“お手続き内容”で一部届出用紙の出力ができます。
<http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/>